

## 情報公開文書

2016年1月1日から2023年12月31日までに札幌医科大学附属病院で  
大腸T1がんと診断され、内視鏡切除および追加外科手術を受けた方へ

研究課題名:

大腸T1がんにおけるAIを用いたリンパ節転移リスク予測モデルの開発

研究代表機関名:

札幌医科大学附属病院

研究機関長:

病院長 渡辺 敦

研究代表者:

札幌医科大学附属病院 消化器内科学講座 准教授 吉井 新二

研究分担者:

札幌医科大学医学部消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座 講師 奥谷 浩一

札幌医科大学医学部病理診断学講座 准教授 杉田 真太郎

札幌医科大学 医学部 消化器先端内視鏡学講座 特任助教 山川 司

札幌医科大学附属病院 消化器内科学講座 診療医 三宅 高和

札幌医科大学附属病院 消化器内科学講座 診療医 齋藤 潤信

共同研究機関

国立大学法人 室蘭工業大学 准教授 橘 理恵

情報の管理について責任を有する者の氏名または名称:

札幌医科大学附属病院 病院長 渡辺 敦

---

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の目的

本研究は、大腸 T<sup>ティーワン</sup>1 がんにおけるリンパ節転移リスクを正確に予測することを目指しています。大腸 T1 がんとは、大腸がんの中でも初期の段階で、がんが大腸の粘膜下層にとどまっている状態を指します。リンパ節は、体内の免疫反応を担う重要な器官であり、体中に分布しています。リンパ節転移とは、がん細胞がリンパ液の流れに乗ってリンパ節へ到達し、そこで増殖する状態を指します。がんがリンパ節に転移することで、病気が進行し、治療が難しくなる可能性があるため、その有無の判断は治療方針を決定する上で非常に重要です。特に、大腸 T1 がんの場合、リンパ節転移のリスクは約 10%とされています。このため、内視鏡による腫瘍の切除だけで治療が十分か、または追加で外科手術を行うべきかが重要な判断となります。本研究では、患者さんから得られる臨床情報(例えば、内視鏡で撮影された腫瘍の画像や血液検査結果)を人工知能(AI)を用いて解析し、各患者のリンパ節転移リスクを数値化します。これにより、医師が患者さんごとに最適な治療方法を選択する手助けをすることを目的としています。

### 2) 研究の意義・医学上の貢献

リンパ節転移リスクの精度の高い予測が可能となることで、患者さんの過剰治療を回避し、生活の質(QOL)の向上に寄与します。また、医療資源の効率的な利用を促進することが期待されます。

---

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

対象は、2016年1月1日から2023年12月31日までに札幌医科大学附属病院で大腸 T1 がんと診断され、内視鏡切除および追加外科手術を受けた患者さんです。

## 2) 研究期間

病院長承認後～2026年12月31日

## 3) 予定症例数

110例

## 4) 研究方法

当院において大腸T1がんと診断され、内視鏡切除および追加外科手術を受けた患者さんの診療情報をもとにAIモデルを構築します。

## 5) 使用する情報

この研究に使用するのは、大学病院のカルテに記載されている情報の中から以下の項目を抽出し使用させていただきます。分析する際には氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除して使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 患者基本情報:年齢、性別、診断名、既往歴
- ・ 血液検査、尿検査、大腸内視鏡所見、病理組織所見
- ・ 大腸内視鏡画像デジタルデータ、病理組織画像デジタルデータ

## 6) 情報の利用開始予定日

情報利用開始予定日は2025年4月中旬以降となります。ただし、研究の参加について拒否の申し出があった方のデータは研究最終解析では利用しません。研究の途中経過の報告ではその時点までに拒否の申し出がなかった方のデータのみを用いて発表する事があります。

## 7) 外部への情報の提供

この研究に使用する情報は、解析のため5)に記載している情報を以下の研究機関に提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除し、提供します。

国立大学法人 室蘭工業大学

## 8) 情報の保存と二次利用

本研究で使用した情報は研究終了後、研究完了報告書提出日から5年間保存します。電子情報の場合はパスワード等で管理・制御されたコンピューターに保存します。その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。その後、保存された情報を新たな研究に使用する場合は、倫理審査委員会の承認を得ます。

---

## 3. 研究結果の公表

この研究の結果は学会や論文で発表します。その際も氏名、生年月日などのあなたを特定できるデータは一切含まないようにします。

---

## 4. 研究に関する問い合わせ等

本研究に関して質問がある場合、以下の連絡先までお知らせください。また、研究に使用されたくない場合は2025年12月31日までにご連絡をいただければ対応いたします。

### 問い合わせ先

- 研究責任者: 札幌医科大学 消化器内科学講座 准教授 吉井 新二
  - 住所: 札幌市中央区南1条西16丁目 札幌医科大学 消化器内科学講座
  - 電話: 011-611-2111(内線 32110 消化器内科学講座教室 平日 8:45～17:30)
  - FAX: 011-611-2282
  - メールアドレス [shinji-yoshii@sapmed.ac.jp](mailto:shinji-yoshii@sapmed.ac.jp)
- 

### 注意事項

お申し出の時点で、研究に使用しない手続を行います。ただし、個人が特定できない形で既に解析されたデータは取り除くことができない場合があります。その点をご了承願います。また、研究に関するお申し出が2025年12月31日を過ぎた場合や、すでに研究結果が学会や論文で公表されている場合には、研究データからの削除がで

きないことをご理解ください。これらの手続により、診療や病院サービスに不利益が生じることはありません。